

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		学びに向かう力・人間性等		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	数学の基本的な概念・知識を理解し、課題解決に活用できる。	身近な事象について数学的な手法により問題解決を図ることができる。	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	事象を数学的に表現・処理することができる。	数学的活動をとおして、数学のよさについて関心を高め意欲的に課題を追究できる。	1つの課題に対して様々な考えがあることを理解し、協働的に問題解決を図ることができる。	数学的根拠に基づいた問題解決に意欲的に取り組んでいる。
評価の観点 の趣旨	基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けている。また、計算・図示など問題解決に必要な数学的な技法を身に付けている。		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		数学的活動を通して数学の定理・法則に関心をもち、意欲的かつ協働的に問題解決に取り組んでいる。		
評価の方法	単元テスト 小テスト		単元テスト 小テスト		振り返りシート 提出物		

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
数と式	数と集合 ・簡単な無理数の計算 ・集合と命題 式 ・式の展開と因数分解 ・一次不等式	40	【理解力】 数と集合、式について基本的な知識を身に付けている。 【分析力】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題解決に活用できる。	【知識・技能】 数と集合、式の定理や語句、解法を理解しており簡単な四則計算や一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 既に学習した計算の方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形できる。
図形と計量	三角比 ・鋭角の三角比 ・鈍角の三角比 ・正弦定理、余弦定理 図形の計量	20	【理解力】 鋭角の三角比の値を用いて、鈍角の三角比の値を求めることができる。 【分析力】 図形の構成要素間の関係に着目することで、三角比を用いた身近な事象の考察ができる。	【知識・技能】 三角比の意味と相互関係について理解している。 【思考・判断・表現】 sin、cos、tanや相互関係、正弦定理や余弦定理等を利用して身近な事象について立式して問題解決に役立てることができる。
二次関数	二次関数とそのグラフ 二次関数の値の変化 ・二次関数の最大・最小 ・二次関数と二次方程式、二次不等式	30	【理解力】 2つの数量の関係に着目し、グラフをかくことができる。また、グラフから値の変化について数学的に考察できる。 【分析力】 2つの数量の関係に着目し、事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察できる。	【知識・技能】 2つの数量の関係からグラフをかくことができる。また、グラフの軸と頂点について理解している。 【思考・判断・表現】 2次関数の式とグラフとの関係について、多面的に考察することができる。
データの分析	データの散らばり ・分散、標準偏差 データの相関 ・散布図、相関係数 仮説検定の考え方	15	【理解力】 コンピュータなどを用いて、データを表やグラフに整理したり、統計量を求めたりすることができる。 【分析力】 与えられたデータから図や表を作成し、データの特徴について考察できる。	【知識・技能】 分散、標準偏差、相関係数の意味やその用い方を理解している。 【思考・判断・表現】 分散と標準偏差、相関係数などを用いてデータの傾向を把握し、それらを的確に表現し事象の考察に役立てることができる。

備考